



第33期 2020年7月～2021年6月

2020年 クラブ主題 **何事も、楽しんでいきましょう**

2021年5月号

- 国際会長主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ
- アジア会長主題 変化をもたらそう
- 東日本区理事主題 変化を楽しもう！
- 富士山部長主題 ワイズだから出来る事が有る！
絆にやろうぜ！富士山部！
- 富士会長主題 何事も、楽しんでいきましょう

第33期クラブ役員

会長	高野 亨	監事	井上暉英
A副	小澤嘉道	監事	鈴木靖巳
書記	吉澤廣美	監事	増田 隆
会計	仲澤昭夫	担当主事	金井淳

今月の強調テーマ EF・JEF

巻頭言

☆2021年5月例会・役員会 **中止**☆

5月 HAPPY BIRTHDAY

- 5月3日 金井 淳君
- 5月15日 小澤 嘉道君
- 5月16日 吉澤 廣美君

富士クラブ伝統の事業「クリーン作戦」開始



少数精鋭のメンバー勢揃い！お疲れ様でした

増田 隆

久しぶりの奉仕作業に参加できた喜びを味わった一日でした。参加メンバーは4人でしたが、強風の中、この伝統ある富士クラブの事業「クリーン作戦」は開始されました。参加できなかったメンバーの分まで4人が力を合わせて市役所前通りをくまなくゴミを拾い集めました。幸いにも強風がゴミをどこかに吹き飛ばしたのか(?)ゴミ袋は例年より軽く感じました。翌日の地元紙の見出しには「富士海岸の美化に汗」と、地元高校生40人が海岸清掃奉仕作業の様子や、「補植作業やごみ拾い」という見出しは地元の奉仕団体クラブがメンバー36人で富士山麓林道の補植・清掃作業を実施、という記事が写真付きで報道されていました。私たち富士クラブは参加人数こそ少なかったですが、取り組む姿勢は同じであり、この事業を私たち富士クラブは1993年から毎年実施しているという事に価値があるのではないのでしょうか。その証として市役所前通りには富士クラブが市民から募集した「環境美化標語」パネルが5枚掲示されています。今後も富士クラブはメンバーが何人になっても全ての人が繋がりを持ってこの事業を継続していく責務があると考えています。環境美化は非常に地味な活動ではありますがいつの社会でも必要なことです。このような地味な活動がSDGsの実現につながっていくのではないのでしょうか。

4月例会

在籍会員	14名	例会出席者	9名	スマイル基金	10,000円	CS基金	625円
功労会員	1名	出席率	64%	スマイル累計	29,000円	CS累計	2,965円
担当主事	1名	ゲスト	0名	ビジター	0名	総出席者	9名

4月例会報告

日時 4月15日 19:00~20:30
場所 かしむら3階会議室
出席者 高野、吉澤、仲澤、小澤、井上、増田
鈴木、岩辺、漆畑、

いつになったら本格的な例会ができるのか、内心そのような思いで4月例会が9人の参加で開催されました。開会に先立ち先日天国に召されました河合ワイズを偲び黙とうを捧げました。その後司会の岩辺ワイズが簡略化された式次第に則り例会を進行していきました。今月の例会は、亡き河合ワイズの思い出話を参加者が一人ずつお話しして頂きました。いろいろな思い出話を聞いていると河合ワイズあの優しい人柄や、思いやりのあるひとこと一言が印象的だった等、あの当時が走馬灯のように駆け巡ります。まだまだ富士クラブで活躍して頂けると思ったのに本当に惜しいメンバーを失いました。これに落ち込むことなくコロナ禍で厳しい日々が続く、ワイズどころではありませんが一步一步ワイズらしい事業を継続していくことがこれからの富士クラブに繋がることを信じて活動していきましょう。その後役員会となりました。(ま)



三密を避け窓を開けて開催された4月例会・役員会

4月役員会報告

書記 吉澤廣美

- ・10月の富士市福祉まつりはコロナ禍の中、見直すことも含めて中止と決まる
- ・6/12(土)東日本区大会甲府はリモート参加となる。例会、事業コメントをパワーポイントで流す。1クラブ20秒
- ・5/22(土)富士山部役員会、評議会、次期研修会が静岡YMCAで行われる。4/24(土)までに富士山部山本書記にクラブ事業報告を提出する。
- ・静岡YMCA理事長に稲田ワイズ、理事に栗本ワイズが上がっている
- ・5/9(日)富士クラブクリーン作戦を行う 9:00集合 ロゼシアター～市役所前通り キャップ、ジャンパー着用
- ・東日本区が一般社団法人を検討中。
- ・富士クラブの新しいジャンパーを作ろうという声があった。



茶畑から望む風薫る5月の富士山(富士市大淵付近)

マイタイム

街路樹に想う

小澤 嘉道

この季節になると猫の額より小さな我が家の庭のモミジや、道路脇に植えられた街路樹には若葉が茂り目に優しく清々しさを感じます。私は職業柄、木を観ることが大好きです。特に何百年以上も生き残る大木には大変興味があるし、安らぎさえかんじます。歴史を見続け成長した千年以上の大木には神が宿ると言われ、しめ縄や祠が置かれ祀られているのをよく目にします。

毎年街路樹には、新芽の出る前の2月~3月頃になると手がかけられます。落ち葉が近隣に迷惑を記に、高所作業車による昨年成長した枝の剪定作業を行います。枝と言う枝は切り取られ、幹は大胆にも切つめられ、まるで電柱並木の様になり果てます。作業車で道路は当然渋滞します。木は何も言わないけれど可哀そうに思います。あそこまで傷めつけるならいっその事、常緑樹で成長しづらい樹木に変えれば管理費も安く済むだろうし、税金の無駄使いにならず済むと思うのだが…。昨年の2月、京都エイブルクラブ30周年記念例会に出席した時の事、宇宙航空研究員の菊山紀彦先生が講演の中で、歩道の一部が樹木をわざわざ避けて造られた写真の説明がありました。『自然や環境の大切さ、未来のために自然を残す。』について語られていた事思い出します。近頃、バッサリつめられた街路樹を目にするたびに自然について考えさせられています。



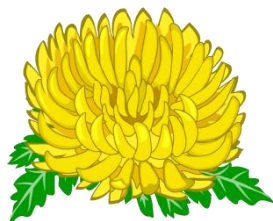
手裏剣の様な花のヤマボウシ(富士市永田町付近)

追悼

漆畑 義彦

重三さんは健啖家であった。嗅覚も飛び抜けてすぐれていた。何処の町に行っても、食べ物選びで外れたことがない。其のうえに酒豪しかも豪快であった。魚はホッケが好き、いつも二人で半分わけ、兜煮も好きだ。いつも穏やかで大局的しかも判断は適格である。こっそり二人でゴルフを楽しみ重三さんは健啖家であった。嗅覚も飛び抜けて優れんだ、ボールは飛ばないが正確、終わってみればいつも私の負けである。ワイズでは穏やかだが芯が強く、2011-2012年の事件解決には我々側近にも余分なことは言わない。900余名の意見は2分したが、リーダーシップを発揮して意見をまとめ今日の礎を固めた。当時の重三さんは、本当に気の毒だった、期待されスタートした任期をいきなり踏みにじられた。しかも元理事会の尻拭いをしいられ、各クラブから批判にさらされた。重三さんの人柄と自分を殺した行動が解決を引き出した。彼の任期が終わった時、元理事や区からねぎらいの言葉があったらどうか・・・

今になっては話すことができない。すべてを背負って逝った。最近会合があっても、団体は何事もなかったように粛々と時が過ぎてゆく話題にも出ない。寂しいよ うるし



東日本区理事通信 第11号 2021.5.1 (抜粋)

理事メッセージ 東日本区理事 板村哲也

4月に休会復帰者も含め5つのクラブで合計9名の方が私たちの仲間になりました。おめでとうございます。一方亡くなられた方、退会の方が計3名おられました。この結果4月末現在の東日本区の会員は843名となり、期初(830名)からの増加人数は13名となりました。第24回東日本区大会は半日開催で、6月12日(日)の午後、甲府市内の常盤ホテルにて甲府21クラブのホストで開催致します。多くの皆さまのご参加をお待ちいたします。

【第3回役員会報告】 東日本区書記 小山 久恵
2021年4月10日(土)18時よりZoomによる役員会が開かれました。出席者39名、内、役員16名中15名で、下記の13議案が審議され、すべてが賛成者多数で承認されました。

- ① 第2回役員会議事録承認
- ② 2020・2021年度東日本区会計中間決算および監査報告
- ③ 2021・2022年度東日本区理事方針
- ④ 東日本区行事予定案について
- ⑤ 2021・2022年度会計予算案
- ⑥ 第26回東日本区大会ホストクラブ立候補
- ⑦ 次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名
- ⑧ 東日本木の法人格の取得および一般社団法人定款制定
- ⑨ 沖縄クラブの西日本区への転籍
- ⑩ ワイズメンズクラブ創設100周年記念兼東西日本区25周年記念行事開催
- ⑪ 東日本区定款施行細則11条の改訂
- ⑫ Change! 2022会計中間報告承認
- ⑬ ハンドブック&ロースターの発行方法・掲載内容・作成管理手法を変更する
- ⑭ その後、理事、次期アジア太平洋地域会長、4事業主任、7部長と各委員会委員長から活動報告、担当主事のYMCA報告、監事講評がありました

【強調月間】 「EF・JEF」とはなんでしょう。

EFとは? 東日本区国際・交流事業主任 米長晴信
EFは国際ワイズダム発展のための特別基金です。日本では慶事の際に「お祝い」「ご祝儀」を贈る風習がありますが、その逆です。個人・クラブの記念行事、慶事の折に国際協会に寄付するというものです。米ドル120以上の寄付で永久保存される国際協会発行の「ゴールドブック」に寄付者・事業名が掲載されます。前述の通り日本人の感覚とは逆の基金なので、何故自分の慶事に対して金を払わなければならないのか、と考えてしまうでしょう。そこで逆転の発想で、「慶事に対してゴールドブックに記載していただき、返礼として120ドル寄付する」と位置付けるとしっくりくるのではないのでしょうか。

JEFとは? 東日本区ワイズ基金委員長 高田一彦
東日本区ワイズ基金の歴史は、第51回熱海国際大会(1975年)の際、大会発展のため日本区の会員が積み立てた拠出金と国際からの還付金を基本財産とする「アタミ基金」として設立され、その後「日本ワイズ基金」と改称されました。1997年7月1日に日本区が東西に分かれたためこれを分轄譲与されました。この基金は、東日本区ワイズ運動の継続的な組織と事業の発展のために、部・クラブ・個人が記念すべき出来事、行事、慶弔事等に際して、感謝の気持ちを表す献金で成り立っています。特に今期は、多くのクラブの創立周年時にあたっていると思いますが周年行事の一つとして東日本ワイズ基金への献金を是非、お願いします。これまでの活用実績は、ワイズ記念誌発行支援、国際大会・国際交流活動の支援としての通訳器の購入、YMCA 東山荘100年基金への協力等が行われてきました。直近では、「2022年をゴールとする中期会員増強運動」のSNS支援や、ワイズ発祥100年を記念しての「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画」への献金等が挙げられます。

クリーン作戦

CS 委員長 鈴木靖巳

5月9日(土)午前9時 晴天、風が非常に強い中、精鋭4名のメンバーがロゼシアター玄関前に集結し約1時間をかけて市役所通りのクリーン作戦を実施しました。貴重な日曜日にご苦勞様でした。回収量は年々減少し市民の皆さんのマナーの向上だと思われまふ。次なる事業の展開を検討するのをも一考かもしれまふ。

参加者 漆畑、増田、吉澤、鈴木

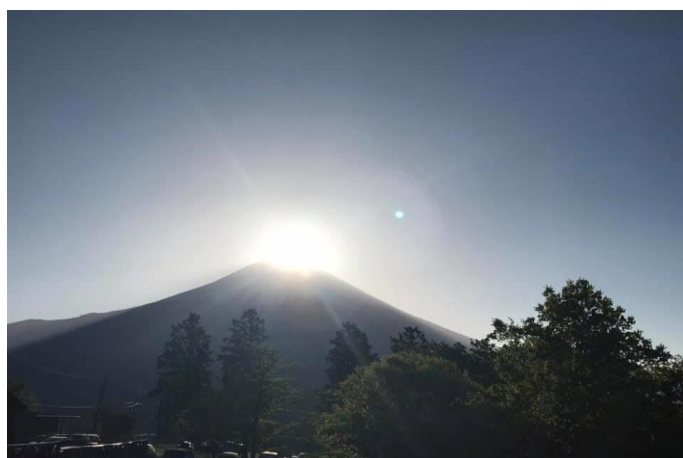


上の写真の標語パネルは富士クラブ5周年記念事業として市民から環境美化標語を募集し、5枚のパネルの表裏に入選標語を掲載し、市役所前通りに掲げてあります。あれから28年経過したので今回参加したメンバーの中から、標語を新しく募集したらどうかという意見が出ました。是非検討してみまふ！

YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳

昨年のゴールデンウィークは、緊急事態宣言下で営業休止していましたが、今年は感染対策を行い、通常通りの営業を行うことができました。宿泊棟・テントサイト合わせて延べ500名以上のお客様にご利用いただきましたが、大きなトラブルもなく、大自然の中での連休をお楽しみいただきました。富士山 YMCA では、ゴールデンウィークの時期に「ダイヤモンド富士」を見ることができます。比較的天候に恵まれた今年のゴールデンウィークは、多くのお客様にご覧いただくことができました。次回のダイヤモンド富士は8月のお盆の時期です。



富士山 YMCA から望む神秘的なダイヤモンド富士

【これからの予定とお知らせ】

東日本区

第24回東日本区大会は6月12日(土)の午後ハイブリッドで開催予定。

富士山部

- ・第3回役員会・評議会は書面会議となりました。
- ・次年度役員、会長顔合わせ会も中止となりました。

富士クラブ

使用済み切手を例会、役員会時に持参してください。切手の周りを2~3ミリ残して氏名を記入した袋に入れ担当の岩辺ワイズに提出して下さい。

手洗い、うがい、マスク、三密を励行しましょう。

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のために、YMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかるう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。